

科目区分	専門教育科目	授業科目名	AI活用			科目コード	26L122	担当者	橋本 剛			担当形態	単独	
対象学科・コース	生活創造学科 地域未来創生コース	配当年次	2年次	開講学期	春学期	単位数	1	必修・選択の別	選択	免許・資格要件				
授業形態	講義	履修条件									教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分		
実務の経験を有する教員担当科目		該当	実務の経験内容及び科目との関連	一般社団法人サイバースマートシティ創造協議会元代表理事としての経験を活かし、AI技術の社会実装事例やスマートシティにおける活用動向などについて、実務的な視点から具体的に講義する。									科目に含めることが必要な事項	

授業の主題	この科目は、人類社会に欠かせない存在となりつつあるAI（人工知能）を日常的に活用することを学びます。	課題等への対応（フィードバックの方法等）	提出されたミニレポートに対し、授業内で講評を行うとともに、AI活用の視点や改善点についてアドバイスを行う。
授業の方法	最先端分野であることから、実社会で活躍している外部のゲストスピーカーを積極的にお招きします。授業終了後には、毎回ミニレポートを提出するとともに、最終回にレポートを提出してもらいます。	アクティブ・ラーニングの実施方法	自らリサーチを行うことで主体的に課題を発見し、AI技術を活用した解決策や考察を論理的に構成してまとめる（課題探究型学習）。

回数	授業計画	事前・事後学修	
第1回	AIのできること～まずは使ってみよう～	事前：授業で取り上げるAIツールや事例についての予習 事後：実際にツールを操作して活用方法や課題を整理の上、ミニレポートを作成	
第2回	AIはどう考えているのか？～しくみと限界～	事前：授業で取り上げるAIツールや事例についての予習 事後：実際にツールを操作して活用方法や課題を整理の上、ミニレポートを作成	
第3回	文章・レポート・企画書でのAI活用（実践回）	事前：授業で取り上げるAIツールや事例についての予習 事後：実際にツールを操作して活用方法や課題を整理の上、ミニレポートを作成	
第4回	現場でAIはどう使われているか〔ゲストスピーカー〕	事前：授業で取り上げるAIツールや事例についての予習 事後：実際にツールを操作して活用方法や課題を整理の上、ミニレポートを作成	
第5回	AIと仕事の未来 ～奪われるのか、拡張されるのか～※ディスカッション	事前：授業で取り上げるAIツールや事例についての予習 事後：実際にツールを操作して活用方法や課題を整理の上、ミニレポートを作成	
第6回	AI×専門分野〔ゲストスピーカー〕	事前：授業で取り上げるAIツールや事例についての予習 事後：実際にツールを操作して活用方法や課題を整理の上、ミニレポートを作成	
第7回	AIと創造性 ～人は何を創るのか～〔ゲストスピーカー〕	事前：授業で取り上げるAIツールや事例についての予習 事後：実際にツールを操作して活用方法や課題を整理の上、ミニレポートを作成	
第8回	AIとどう生きるか ～使う側であり続けるために～	事前：授業で取り上げるAIツールや事例についての予習 事後：実際にツールを操作して活用方法や課題を整理の上、最終レポートを作成	
		事前・事後学修時間 (分/授業1回)	180分/授業1回

教科書 〔書名/著者名/出版社〕	なし。適宜紙又はデータで資料を配付します。	受講生へのメッセージ	極めて新しい、動きつつある分野です。今後、毎年内容が変わるほどの変化が起きるでしょう。ともに学んでいきましょう。
参考書 〔書名/著者名/出版社〕	なし		

